

ISOボックスの点検を行いました

ISO事務局では、ごみ減量とリサイクル推進の目的で各フロアに設置しているISOボックスの点検を、毎年行っています。今年は、職場体験の第四中の生徒に協力してもらい、9月14日のお昼休み後に実施しました。

☆点検結果☆

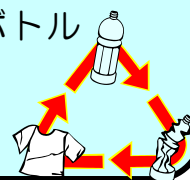
全体的にごみは少なく、各ボックスの分別も8割以上できていましたが、分別せずにレジ袋にまとめて捨てられているものや、潰されていないペットボトルも見られました。

可燃物にはこんなものが・・・

- ・ 割り箸 → 割り箸のボックスへ
- ・ ヨーグルトのアルミ蓋
→ 不燃物へ

ペットボトルにはこんなものが・・・

- ・ 飲み残しが入ったペットボトル
→ 中をすすいでから捨てる
- ・ 潰されていないペットボトル
→ 潰してから捨てる



プラスチックにはこんなものが・・・

- ・ ストロー → 不燃物へ
- ・ 分別できていないお弁当
→ 食べ残しなど分別し、
容器は洗う

雑誌にはこんなものが・・・

- ・ 内側が銀紙の飲料容器
→ 不燃物へ

また、タバコの吸殻がISOボックスに捨てられていることがあると、回収業者の方が話してくださいました。タバコの吸殻は、火災の危険があるので、ISOボックスには捨てないでください。

なお、庁内自販機及び売店で購入したペットボトル等については、備え付けの回収容器での回収にご協力ください。

現在までのところ、環境目標である、可燃・不燃物の排出量削減と資源化率については目標を達成していますが、今後も更なる

ごみの減量・分別にご協力をお願いします！